

"シグナル毒性"ってなに？

環境ホルモン（内分泌かく乱物質）が体に 悪影響を与える理由はこれだった！

私たちの体の中で、もし間違ったタイミングで、間違った指令（シグナル）が出されてしまうと、脳を含み全身の指揮系統が混乱します。環境ホルモンなどの有害化学物質が、そのような悪影響を起こしていることが最新の科学研究で明らかになっています。それをわかりやすく説明できるのが、新しい毒性概念の“シグナル毒性”です。増え続ける子どもの発達障害や原因不明のさまざまな現代病。もしかしたら、胎児のときからの環境ホルモンなどのばく露によって指揮系統がかく乱され、脳などの機能の発達に影響が出ているのかもしれません。“新しい毒性概念“といわれても、ふつうは難しく何のことかわかりませんが、“シグナル毒性“の概念は、今後、化学物質のリスク評価や管理に役立ちます。

講師の菅野純先生は、日本毒性学会理事長を2度歴任され、国際毒性学会理事長をアジアで初就任された毒性学の第一人者です。最新の科学情報を解説して頂きます。ぜひご参加ください。



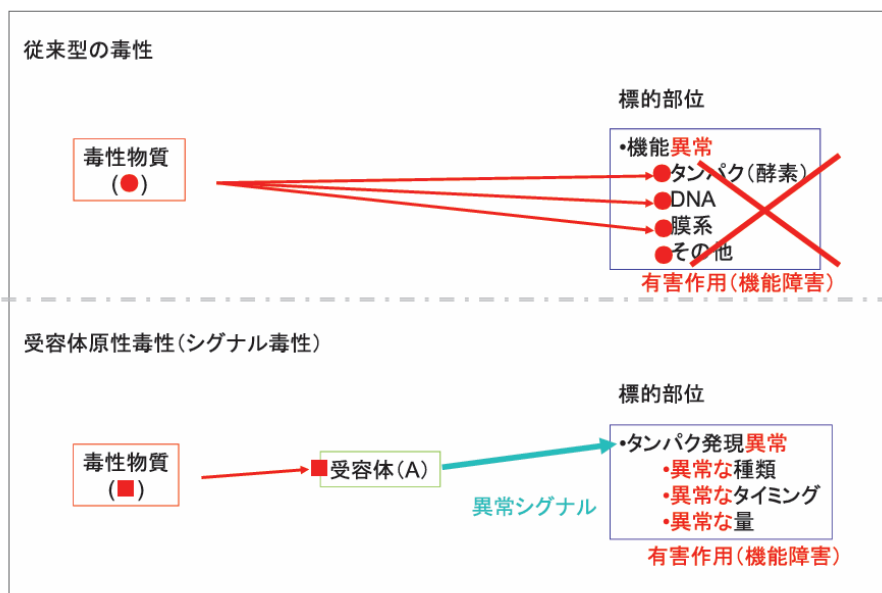
講師：菅野純氏

国立医薬品食品衛生研究所
毒性部 客員研究員・名誉職員
公益財団法人日産厚生会
玉川病院 病理診断科・部長
ダイオキシン・環境ホルモン対策
国民会議 理事

9月7日(日)

14:00開始 16:00終了
(開場13:30)

場所/連合会館402号室
千代田区神田駿河台3-2-11
JRお茶の水駅より5分
参加費：無料
会場とオンラインの同時開催



参加申込

- 会場参加は メールで Kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp
- ウェビナー参加は <https://x.gd/VfQb5> または QRコードより ご登録を



主催：ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議

事務局：〒136-0071 東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F Tel.03-5875-5410

このセミナーは2025年度パタゴニア環境助成金プログラムの助成を受けて開催されます。